

# 松蔭 校長室だより

—校長から保護者の皆様へのメッセージです—

2021年1月6日 発行

松蔭中学校・高等学校

校長 浅井宣光

(今年度よりHPおよびClassi配信のみとしています)

## 3学期の始業

2学期の終業式はちょうどクリスマスと重なり、校内にはキリスト教主義学校らしい空気が漂いました。例年のスケジュールですとイブの数日前から冬休みに入りますが、1学期の一斉休校期間がありましたので2学期を延長しました。年末年始の感染急拡大を受け、首都圏を対象に2度目の政府「緊急事態宣言」が発令されることになり、京阪神地域でも予断を許さない状況が続いています。感染防止の基本動作（手洗い、手指消毒、マスク着用）を心がけ、校内での濃厚接触（マスク無し、1m以内、15分以上の会話）の回避、常時換気を徹底します。ご家庭でも、お子様へのお声掛けなどのご協力をお願いいたします。本日、始業式中高別に行いました。10日ぶりの生徒たちの朗らかな姿に安堵しています。チャプレンが朗読した聖句と始業式での私の講話の内容を紹介します。

実際、体は一つの肢体だけではなく多くのものからできている。もし足が、私は手ではないから、体に属していないと言っても、それで体に属さないわけではない。また、もし耳が、私は目ではないから体に属していないと言っても、それで体に属さないわけではない。もし体全体が目だとすれば、どこで聞くのか。もし、体全体が耳だとすれば、どこでかくのか。

(コリントの信徒への手紙Ⅰ 12:14~17)

## 中学講話「モーブの広場の3本の新しい木」

新年おめでとうございます。お正月をはさんで短い冬休みでした。コロナにより、いつものお正月とはちがう過ごし方だったという人も多いでしょう。今年は十二支でいうと干支（えと）は丑（うし）年です。十二支にまつわる物語によると、昔々、神様が（キリスト教の神様ではありませんが）、元旦に12種類の動物たちが挨拶に来るといので、競争して来なさいと仰ったそうです。そして、最初に到着した動物が今年のリーダーで、到着順にこれから十二年間の1年ごとのリーダーを決めることになりました。牛は、自分がのんびり屋だとわかっているのに、1番になるために誰よりも早く、大晦日に出発したそうです。牛が歩いている途中に、ねずみが牛の背中にちょこんと飛び乗りました。「らくちんらくちん」と言いながら、神様のお屋敷の門が開いたとたんに飛び降りて1番に、牛は2番目となり、干支の順番は、「ね、うし」となったそうです。今年は、丑年なので、順位はともかくとして、この牛のように早め早めに準備をして、自分のペースでコツコツと努力していく1年としたいと思います。

さて、昨年秋のことですが、モーブの広場に3本の新しい木を植えました。1本は、病気のため、昨年7月に天に召された中学3年の生徒の追悼のための記念樹で、ご家族から寄付をいただき植えた木です。中学生の皆さんは、講堂で追悼礼拝をしたことを覚えていると思います。木の種類はヤマボウシといいます。成長すると10mほどにもなり、春には花、夏には瑞々（みずみず）しいグリーンの葉っぱ、秋には果実が実り、その後に紅葉します。冬の間には栄養を蓄えて春になると一気に花が咲くので、昔は田植えの目安にもなっていました。いつも周りに配慮して、丁寧な生き方をしていた彼女にぴったりの樹木だと思っています。



ヤマボウシは2人の生徒の後方に、オリーブはその左下と手前の支え柱右横にあります。

あとの2本は、もともとチャペルの前に鉢植えのオリーブが2鉢ありましたが、大きくなったのでそれを移植したものです。オリーブの木は、ヤマボウシとちがって1年中葉が茂っている、常緑とよばれる樹木です。太陽と温暖な気候に合っていて、水はけの良い土とたっぷりの水で成長します。夏の初め頃に白や黄色がかった小さな花が咲き、その後、小さな緑の実をつけます。その実はだんだんと赤身を帯びていきやがて紫色に熟し、黒っぽく変わります。そのままだと食べられませんが、オリーブオイルを作ったり、ピクルスにしたりします。

聖書に「ノアの箱舟」というお話があります。このお話にはオリーブが関係しています。どんなお話かという、神様がこの世界を作って人間を住まわせていたけれど、しだいに人間たちが悪さをするようになり、怒った神様が、洪水を起こして地上から人間をなくしてしまおうと思いましたが、ただし、神様を敬っていたノアとその家族だけには箱舟をつくらせて、その船に様々な動物の1つがいに乗せるように言いました。やがて神様が言う通り大雨が降り、大洪水が起こり、人間だけでなく全ての生命がこの世から消えました。ノアは様子を見るため箱舟からハトを放しました。やがてその鳩はオリーブの枝をくわえて戻ってきたので、洪水がようやく終わったことがわかりました。この話から、オリーブとハトの組み合わせは、地上に平和があることを知らせる存在として、平和のシンボルとされるようになりました。

ところで、このオリーブですが、実を料理に使ったり、オイルにしたりしますが、その実は、1本の木ではなかなかできないそうです。私の自宅の庭にも、植えてから15年にもなるオリーブの木が1本ありますが、大きく成長したものの今まで実がなつたことはありません。ところが、オリーブの実をたくさん収穫する秘訣があるそうです。それは、オリーブを2本以上植えること。しかも同じオリーブの木でも、種類が違うオリーブが近くに植えられていることが良いそうです。

この話から私はいつも学校の事を考えるのです。学校にはたくさんの生徒と先生方がいます。同じ人間であることは当たり前ですが、一人として同じ人間はおらず、一人ひとりが見た目も性格も全く異なります。ということは、同じ人間でも種類が違う人間が近くにいるからこそ、オリーブの実がたくさんできるように、一人ひとりに良いものが備わっていくと思います。良いものとは、勉強する力はもちろん、礼儀正しさとか、思いやりの心など、人間が持つ力のことだと思います。異なる人間が、教室のなか、学校のなかに数百人もいるので、時にはトラブルが起こることも当然です。松蔭の同じ制服に身を包む皆さんですが、同じ人間はいません。違って、個性があって当たり前なのです。

これからの3学期の学校生活でも、各自の個性が共に校内にあり、時にはぶつかり合うなかで一人ひとりのオリーブの実が豊かに育つことでしょう。1年間の仕上げの学期です。自分のやるべきことを見極め、周囲の人にも思いやりの心を持って過ごしましょう。(2020年1月6日 中学始業式 校長講話)

## 高校講話「神様の選択」

あなたがたが経験した試練はみな、人の知らないものではありません。神は真実な方です。あなたがたを耐えられない試練にあわせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えていてくださいます。

(コリントの信徒への手紙Ⅰ 10:13)

新年、おめでとうございます。コロナ感染症のため、不要不急の外出を避けましょう、と言われていたので、いつものお正月とはちがう過ごし方をした、という人も多いでしょう。お雑煮やお節料理を食べましたか？ おせちに飽きたから、今日はカレーにしようか、ラーメンにしようかと家族と話した人もいるのではありませんか？

人生は「小さな選択」の積み重ねだ、としばしば言われます。卑近な話ですが、お昼ご飯に何を食べるかを決めることが「小さな選択」です。明日はハンバーガーかな、パスタかな。マクドナルドにしようか、モスバーバーにしようか。今日はあの洋服を着ようか、このスカートにしようかと、私たちは「小さな選択」を日々行っています。

問題は、自分の選択だけでは物事が前に進まないことがしばしばあることです。恋愛を考えてみましょう。好

きな人ができました。ところが相手が自分を選ばず、片想いに終わる場合がある。選ぶ自分と、選ばれる自分があるのです。今は就活と言うのでしょうか、皆さんは将来、就職活動をするでしょう。この会社に入りたいと希望しても、会社が採用しないことがある。無事に入社できても、社内で希望する仕事を担当させてもらえないことがしばしば起こります。恋愛と似ていませんか？ 自分が選ぶが、相手も選ぶ。自分が見る自分自身と、他人が見る自分がある。選ぶ自分と選ばれる自分がある。この2つの自分が、いつも一致していれば、片想いは起こらないし、人生はバラ色でしょう。でもそのようになることはむしろ人生では少ないようです。失恋は大ショックだし、就活が希望通りにいかない事態に直面するかもしれない。会社でやりたくない仕事を与えられ、不平不満の毎日でイヤイヤ仕事をしている姿など、自分にとってマイナスにしかありません。人生においては、目の前の困難に挫けたり、逃げ出したいと思ったり、もうどうにもならないと絶望したりする瞬間が誰にでもあるものです。

昨年3月、コロナによる休校期間中のことでしたが、宮城まり子さんという女優が93歳で亡くなりました。彼女は歌手でもあり、大晦日の紅白歌合戦に何回も出場した経験がありました。50年程前、彼女は女優業の傍らで静岡県に肢体不自由児養護施設「ねむの木学園」を作りました。「ねむの木学園」は、障がいをもつ子供たちのための施設で、後に学校も併設しました。松蔭と同じように私立学校ですが、特別支援学校として、現在も70名程の子供たちが学んでいます。宮城まり子さんはその学校の児童や生徒たちに向かっていつも、「あなたがたは、神様に選ばれた子供です」と話していたそうです。神様はあなた方をいつも見ている、障がいに負けない力を持つ子供だ、与えられた命を頑張って生き抜く子供だと、神様が選んだのですよ、といつも語りかけたのです。

松蔭の入学式の式辞で私が毎年話す一節があります。それは、「皆さんが学校生活を送る最も相応しい場所として、この学校に神様が導いたのです」というものです。皆さんは、中学受験や高校受験にあたって松蔭を選びました。皆さん自身の選択です。でも同時に、神様が「松蔭生になりなさい」と仰って、選ばれた高校生だと私は思っています。いつもそっと神様が見守ってくださっている存在だと考えています。

2学期終業式では、スライドを見ながら新型コロナウイルスの最新情報と今後の見通しについて、皆さんと共有する時間を持ちました。コロナが収束する時期については、世界の多くの研究者が、これから1年以上かかるだろうが、治療薬やワクチン開発がポイントだという意見を持っていることにも触れました。高3の皆さんにとっては、卒業後の大学生活においても、高1、高2の皆さんのこれからの松蔭生活も、様々な制約のもとで過ごすことになる可能性が高いでしょう。マスク生活がいつまで続くのかと、後ろ向きの思考回路に陥る場合もあるでしょう。このような時にも神様は側にいて見守ってくださると覚えていたい。乗り越えられない困難を神様は与えない。このことを皆さんと共に覚えて、2021年の新しい年を迎えたいと思います。

(2020年1月6日高校始業式 校長講話)

## 1月の行事予定

校内での主な行事の予定です。生徒が参加する行事の詳細は、各学年からの連絡でご確認ください。

- 1月 7日(水) 授業開始 \*時差登校、45分授業実施。クラブ活動中止。
- 1月 8日(金) 月曜の時間割
- 1月13日(水) 中1百人一首大会
- 1月14日(木) 高1、高2実力考査
- 1月15日(金) 阪神淡路大震災記念礼拝(放送礼拝 9:10朝礼) 授業③校時まで(中学入試準備のため)
- 1月16日(土) 18日(月) 中学入試期間による自宅学習日
- 1月19日(火) この日より通常時間帯登校、50分授業、クラブ活動再開(予定)
- 1月20日(水) 中2百人一首大会
- 1月21日(木) 中1入学感謝礼拝(午前)、「わくわくオーケストラ」(午後) \*午前、午後とも生徒のみの行事です。
- 1月22日(金) お誕生礼拝

1 月 23 日(土) 中学入試合格者登校(午後)

1 月 24 日(日) 英語検定一次試験

1 月 28 日(木) 漢字検定(放課後) 45 分授業